

WinActor初級者セミナーQ&A (2026/5/26開催)

No.	カテゴリ	質問	回答
1	ブラウザ操作	Webブラウザの操作を組み込む場合（帳票出力など）、各システムで画面改修が入った際のRPAの修正が難しいです。簡単な修正方法などあれば教えてください。	操作画面に改修が入った場合、「自動記録」を用いて当該システムを操作する部品を再作成し、差し替えていただく方式での修正がおすすめです。 また、自動記録での修正が難しい場合は、あえて「画像マッチング」を用いて実装する方針も有効です。（画像を差し替えるだけで、システムに詳しく無い方でもメンテナンスできます。）
2	生成AI連携	Claude Coworkが登場したことで、上層部やユーザからRPAが不要になるのではないかと聞かれることが増えましたが、WinActorの強みは何になるのでしょうか。 スペシャルQAセッションでご回答いただいた通り、RPAはルール通り動くことが強みと認識しているものの、教育や開発・メンテの負荷を考えると魅力が伝わりにくいと感じています。	WinActorは、「決められたルールに基づき、正確・安定的に処理を実施できる」という強みがあります。一方、教育・開発・メンテナンスの負荷については重要な課題と認識しており、生成AIの進化を取り込む形で継続的に軽減を図ってまいりました。 具体的には： ・生成AI シナリオひな形作成 (v7.6) 作りたいシナリオのイメージを対話形式で伝えるだけでシナリオひな形の生成、修正、追加ができるため、シナリオに不慣れな方でも容易に作成できます。 ・帳票操作簡単化 (v7.6) 生成AIが帳票構造を解析することで、フォーマットを意識することなくだれでも簡単にシナリオ作成できるようになりました。 ・AIエージェント連携 (MCP対応) (WMC Ver.4.0) 自然言語で指示するだけでAIエージェントが「判断」し、WinActorが「確実に実行」する連携により、既存のシナリオ資産を活かしながら自動化の幅を広げられます。 弊社ではRPAとAIエージェントは「補完」の関係にあると捉え、今後も生成AIとの連携を強化し、日本企業に最適なAX・DXに貢献してまいります。
3	データ一覧	データ一覧のインポートはWMCでも可能ですか。	はい。WMC (WinActor Manager on Cloud) でもデータ一覧ファイルを利用した実行が可能です。 シナリオを実行するスケジュールを設定する際にデータ一覧ファイルを指定することで、スケジュール設定の中にシナリオとデータ一覧を指定する項目があるため、データ一覧を指定して実行をお試ください。 ■詳細な手順 <WinActor Manager on Cloud Version 4.0 オペレーションマニュアル> https://winactor.biz/docs/Ver400_WMC_OperationManual.pdf ・「7.9シナリオをスケジュール登録する」(P190) ・「図 7.9-2 スケジュール登録エリア (予約する・詳細設定表示) の表示例」(P196)をご参照ください。
4	画像マッチング	画像マッチングを利用したシナリオでは、WinActorの実行パソコンを変更したとき、エラーが発生します。(画面サイズの変更や解像度の変更) これらについてエラーが発生しないシナリオ作成テクニックを教えてください。	基本的な対策として、作成端末と実行端末で同一の解像度・倍率となるよう画像を取得することを推奨しています。また、なるべく実行端末の環境（画面サイズや解像度）を統一頂くことがエラー防止に役立ちます。 シナリオ作成時の工夫としては、以下の対応が有効です。 ・マッチ率を調整し、多少の差異を許容する方針があります。 ・識別対象は特徴のある部分（文字やアイコン周辺）を切り出す。 ・形で誤認識しやすい画像は避ける。 さらにUI操作(UI識別)など他の手法も組み合わせると安定性の向上が期待できます。

WinActor初級者セミナーQ&A (2026/5/26開催)

No.	カテゴリ	質問	回答
5	トラブルシューティング	昨日まで動いていたシナリオがWindowsやChromeのアップデート後動かなくなることがあります。この事象が起こらないようにするコツなどあれば教えてください。	<p>多くの現場で発生する代表的な課題です。 ※アップデートによるセキュリティ強化や仕様変更が原因となるケースが多くあります。</p> <p>< 予防のコツ ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動記録など、変更に強い方法でシナリオを作成する ※アップデートの影響は避けられないため、「影響範囲を限定する設計」がポイントです 2. シナリオの重要度に応じて予防対処の優先度設計が大切です。(全対応は稼働が青天井に増大) <p>< 解消のコツ ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ログからエラーが発生する箇所を特定し、再記録・再設定する 2. ブラウザ操作の場合はWebDriverや拡張機能のバージョンを確認し、最新化する 3. Windowsやブラウザのアップデート内容や設定変更（セキュリティ・ネットワーク等）を確認する 4. 検証用端末など切り分け可能な環境で影響範囲を確認する
6	トラブルシューティング	他の端末だと動くのに、該当端末だと動かないシナリオがあるので、原因が気になります。	<p>主な原因は「環境差異」であるケースが多いです。 そのため、動作する端末との差分を比較いただくことが原因特定の近道です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェア : OS、ブラウザ、各種アプリのバージョン 2. 設定 : セキュリティ設定、ネットワーク設定 3. 表示系 : 画面の解像度、拡大率設定など <p>複数端末で動作させるためには、個人設定の影響を受けない設計が重要です。 例えば、新規のWindowsユーザアカウントで動作確認すると、個人のカスタマイズ設定の影響を排除した検証が可能です。</p>
7	トラブルシューティング	Webページに転記した際、接続エラーが出た時の対応を教えてください。	<p>対処法の一例として、接続エラーを一時的なエラーと仮定すると、リトライ処理を組み込むことが有効です。 例) ブラウザを一度閉じて、再実行する、などがあります。</p> <p>また、エラー内容（通信エラー、認証エラーなど）によって対処方法が異なるため、ログやエラーメッセージをもとに個別に切り分けることが重要です。</p> <p>切り分けが難しい場合は、ログや発生条件等の情報とともに、購入元販売店までお問合せください。</p>
8	運用・定着支援	現場から「WinActorは難易度が高いため画像認識メインの他社製品を使いたい」との要望があり、エラー回避のために画像マッチングの利用を制限していた内部ルールの見直しを検討しています。他社様における市民開発での画像マッチング主体の許可状況やエラー頻発を防ぐ運用ルール、「開発の容易さ」と「メンテナンス性（安定性）」のバランスを保つための工夫などがありますでしょうか。	<p>ご記載の通り、画像認識を主軸にしたシナリオ開発も一つ有効な手段です。 一方で画像マッチングは画面の解像度や拡大率の違い等の影響を受けやすい点に注意が必要です。</p> <p>バランスの取り方については、市民開発の初期段階での利用とし、本番運用ではUI識別方式の部品に差し替えるなどの運用されるケースが多くあります。また、UI要素が取得できない場合の代替手段として利用されるケースが一般的です。</p> <p>より便利にお使い頂くTipsとして、自動記録の画像マッチングモードで作成すると「開発の容易さ」を向上できると思います。「メンテナンス性（安定性）」については実行端末の環境を統一することがエラー防止に直結します。あわせて事前に解像度や拡大率に影響を受けやすいことを共有しておくことがトラブル回避に役立ちます。</p>

WinActor初級者セミナーQ&A (2026/5/26開催)

No.	カテゴリ	質問	回答
9	運用・定着支援	導入後のエラー対応作業に工数がかかり、自動化による期待効果が得られないのではないのでしょうか。	<p>エラー対応に工数がかかるケースは一定数発生しますが、実際には手作業の削減効果や、ミス低減効果が上回るケースが多く、メリットを実感いただいている事例が多くございます。</p> <p>適切な設計や運用により影響を縮小できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部品を処理ごとにグループ化して、エラー時に切り分けしやすい構成にしておくことで修正範囲を限定でき、対応工数を最小化できます。(メンテナンス性を担保した設計) 2. 動作環境(ソフトウェアバージョン・設定)を統一し、作業内容を標準化することで、エラーの発生自体を抑制できます。 3. 全てのエラーに対応しようとする工数が増大するため、発生頻度の高いエラーから優先的に対応する運用が重要です。
10	運用・定着支援	「シナリオ作成・運用」の属人化が心配です。	<p>シナリオ作成・運用の属人化は、避けては通れない普遍的な課題ですが、設計と運用ルールにより緩和・解消が可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部品をグループ化し、付箋でコメントを付与することで誰でも理解・修正しやすい構成にする 2. 命名ルールやコメントを統一し、シナリオの可読性を高める 3. 手順書やナレッジを共有し、複数人で対応できる体制を整える <p>これらの整備にはコストがかかりますが、長期的に運用負担を軽減できます。 また、全てを一度に整備するのではなく、重要なシナリオから段階的に対応することが重要です。</p>
11	運用・定着支援	シナリオのフロー検討の仕方を伝えられない。	<p>まずは「人が手作業で行っている手順」をそのまま書き出すことが第一歩です。</p> <p>第2回セミナーにて、フローチャートを検討・作成するためのアプローチについて重点的にご案内しております。お役立ていただけますと幸いです。</p> <p>< メーカー直伝！第2回WinActor初級者セミナー > https://winactor.biz/event/2025/12/24_7033.html フローチャート作成アプローチ (00:03:56)</p>
12	セミナー情報	社内で使用している者はいますが、自身は一から覚える為、基本から知りたいです。	<p>初心者コンテンツをご用意しております。</p> <p>< WinActor 初心者向けコンテンツ > https://winactor.biz/rpa/for_beginners.html</p> <p>また、ハンズオントレーニングや学習シナリオ、業務シナリオといった、シナリオ開発者向けの学習コンテンツもご用意しております。学習コンテンツはすべてWinActorのインストールフォルダ内に配置されており、以下から資料のダウンロードも可能です。</p> <p>< WinActor マニュアル > https://winactor.biz/use/manual.html</p>
13	セミナー情報	4月の開催セミナーのアーカイブ動画はどこで見れますか？	<p>4月開催WinActor初級者セミナーの「Q&Aおよびアーカイブ動画」は以下ページよりご確認ください。 https://winactor.biz/event/2026/03/18_7093.html</p> <p>これまでの初級者セミナーの資料やアーカイブ動画は、イベントレポート 一覧ページからもご確認いただけます。 WinActor公式サイト TOPページ>イベント・セミナー 一覧>イベントレポート 一覧</p>